

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2021年10-12月期〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

〔調査結果の概要〕

今期の調査は363社から回答があった。景況判断DIは▲10(前期調査から3ポイント悪化)となった。来期の見通しは▲22となり、12ポイント悪化する見込みとなっている。

経営上の問題点については、5割以上の会社が「従業員の不足」を挙げた。

以下、その他業況感DIの内訳

2021年7-9月期に対して、

- ・売上高DIは11で、4ポイント改善
- ・処理量DIは2で、2ポイント改善
- ・営業利益DIは-2で、3ポイント悪化
- ・資金繰りDIは-1で、4ポイント悪化
- ・借入難易度DIは9で、前期と変わらず
- ・設備投資DIは4で、6ポイント改善
- ・従業員数DIは-2で、2ポイント悪化
- ・契約単価DIは、収集運搬が4で、4ポイント改善
処分が6で、1ポイント改善

- 売上高の動向については、前年同期比(3ヶ月平均)で2.8%増となった。
- 処理量の動向については、前年同期比(3ヶ月平均)で2.9%増となった。
- 経常利益率については、平均値が7.4%で前期調査(7.1%)より改善した。

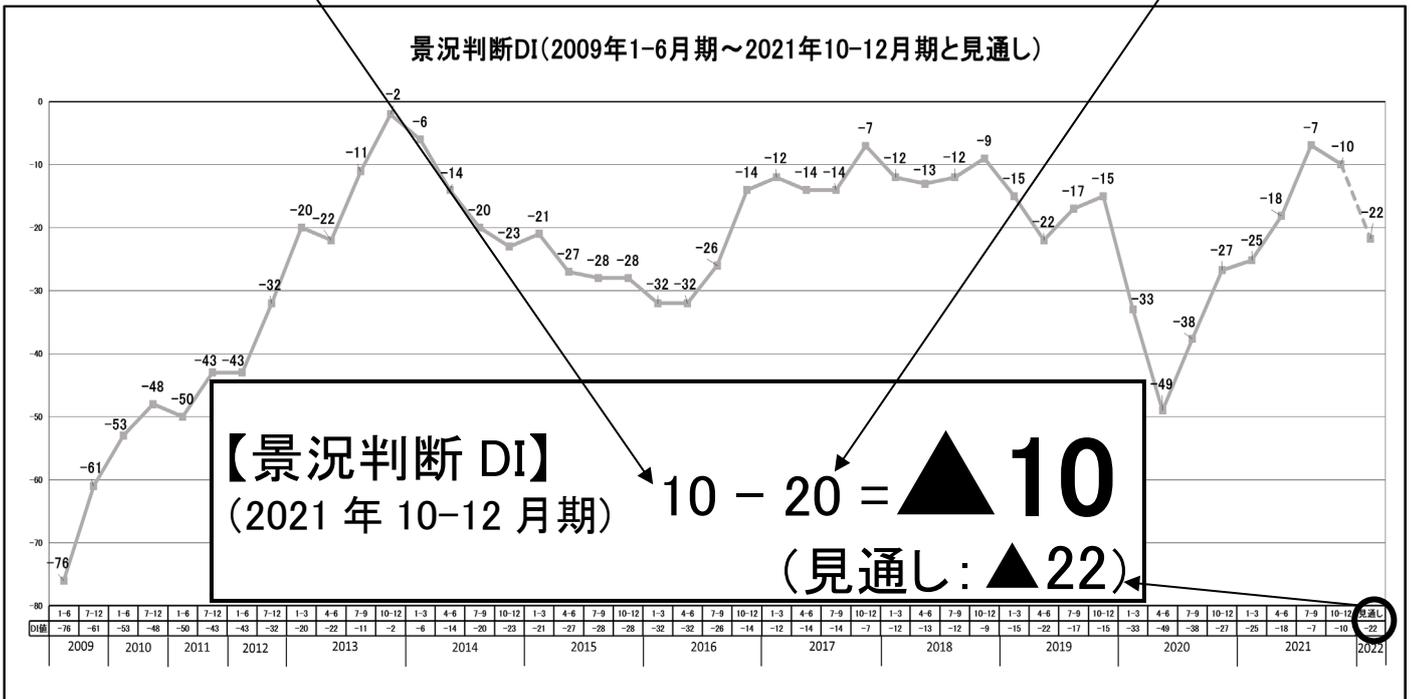
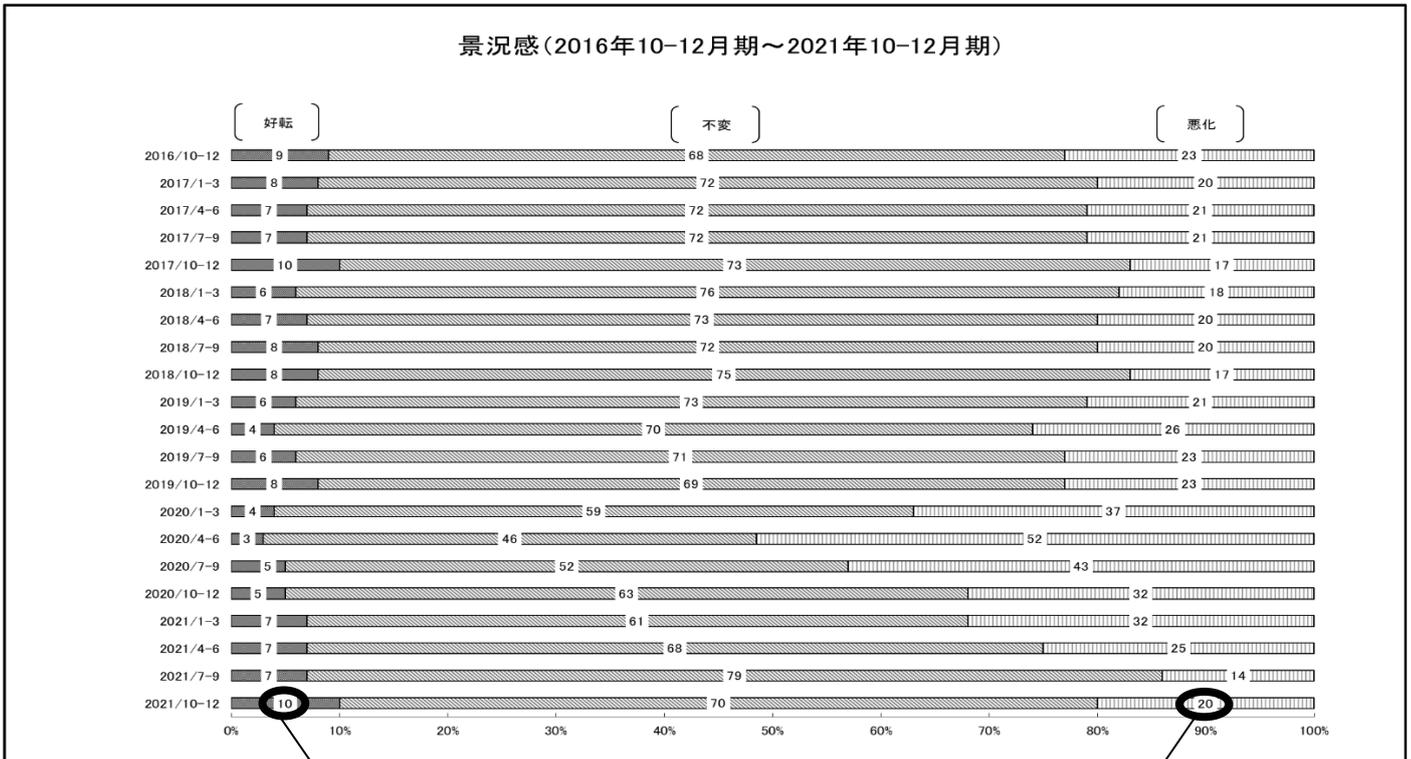
※DIとは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「好転」・「増加」したなどとする企業割合から、「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

※本調査は、2009年から半期周期の調査として実施していたが、2013年からは四半期周期の調査に変更している。

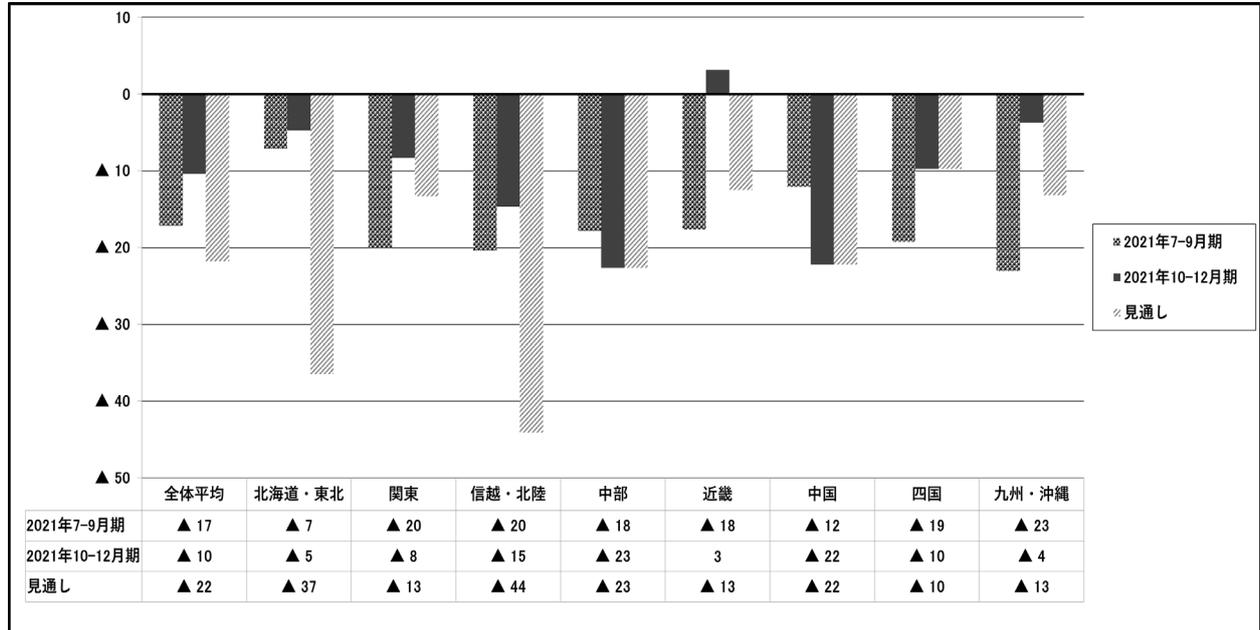
1. 景況感 DI(「好転」・「増加」―「悪化」・「減少」の企業割合)

(1) 景況判断 DI

- 景況判断 DI は▲10 となり、3 ポイント悪化した。
見通しは▲22 となり、12 ポイント悪化する見込みとなっている。
- 地域別の景況判断 DI をみると、「中部」、「中国」が悪化した。(3 ページ参照)
- 地域別の景況判断 DI 見通しをみると、「中部」、「中国」、「四国」は変わらず、その他の地域は悪化する見込みとなっている。(3 ページ参照)



地域別景況判断 DI

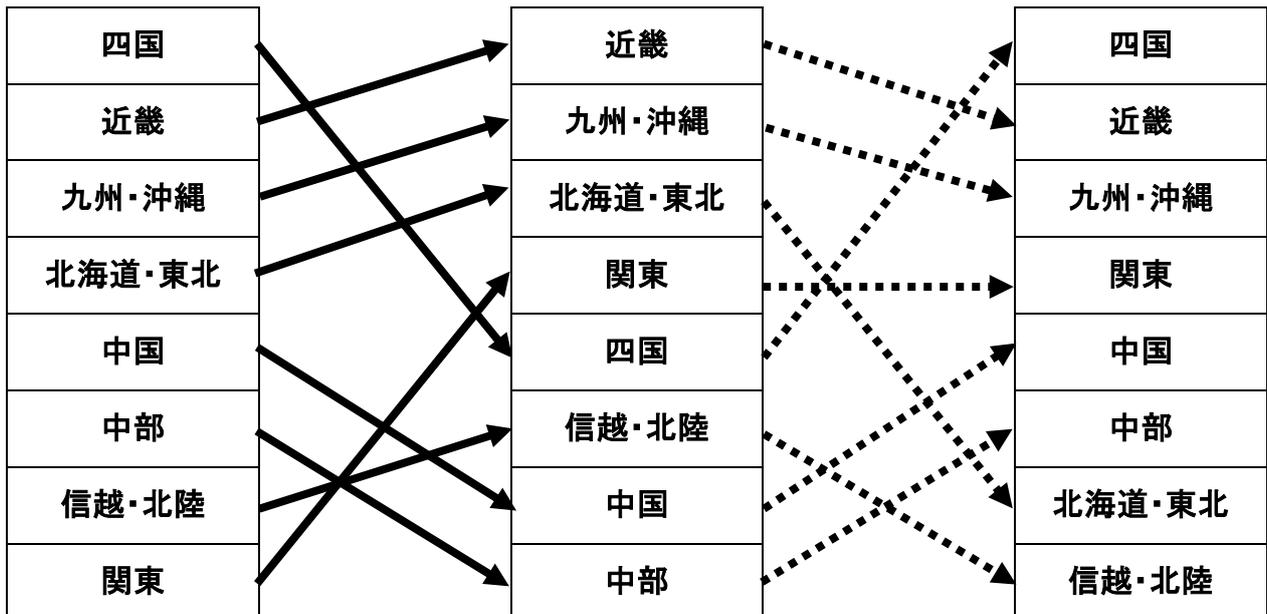


(ランキング推移)

2021年7-9月期
(前期)

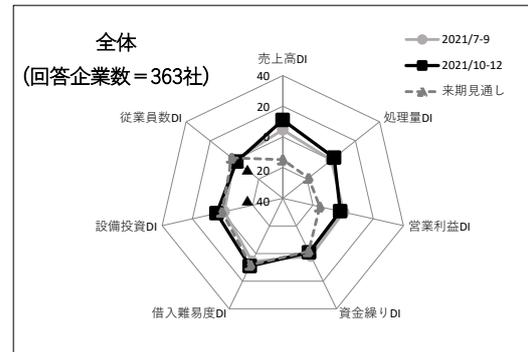
2021年10-12月期
(今期)

2022年1-3月期
(見通し)



(2) 売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI

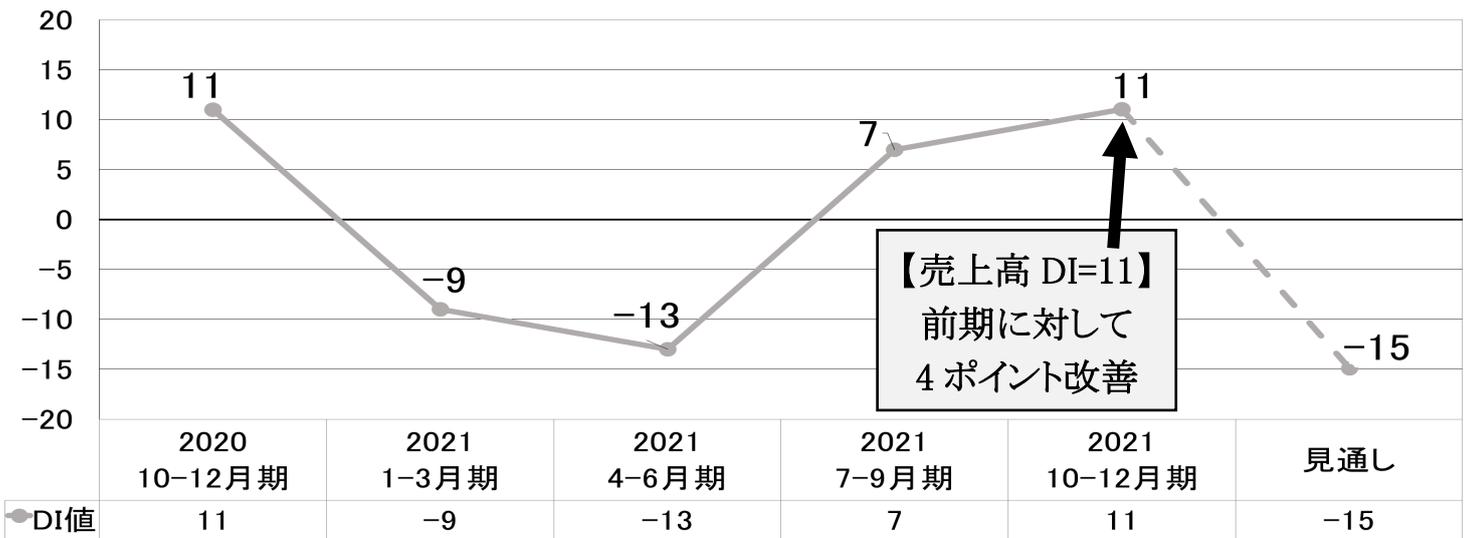
- 前期と比べて、売上高 DI、処理量 DI、設備投資 DI が改善した。
- 見通しは、従業員数 DI のみ改善する見込みとなっている。



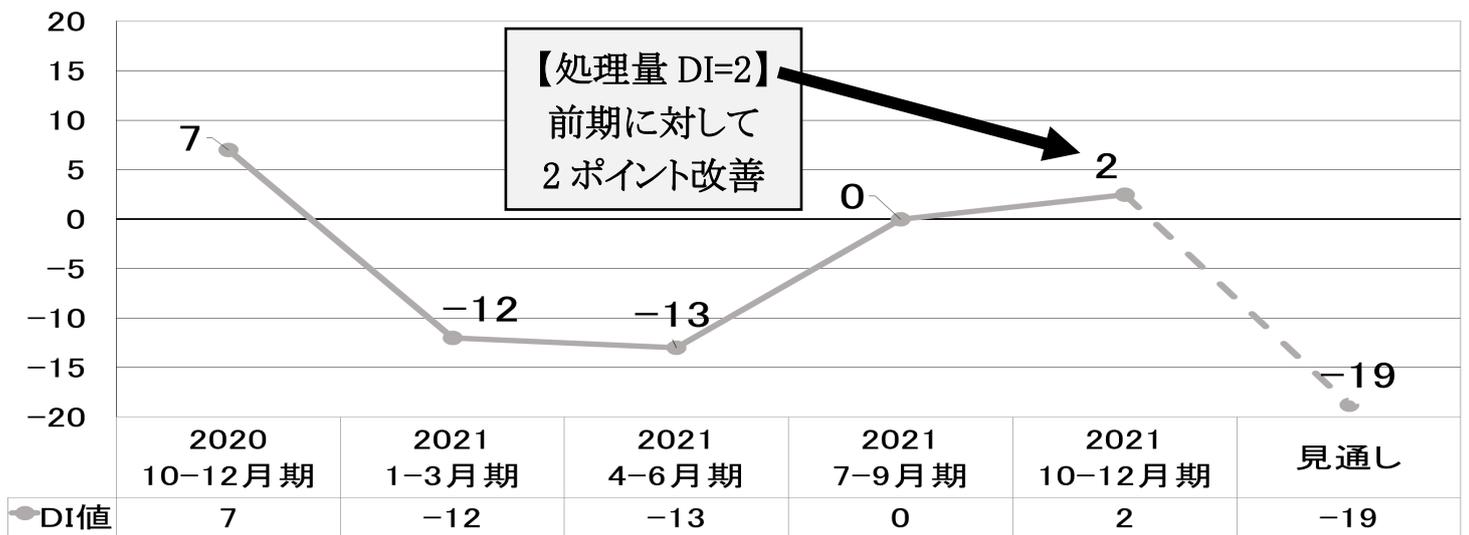
以下詳細(5~7ページ参照)

- ・売上高 DI は 11 となり、前期と比べて 4 ポイント改善した。
見通しは▲15 となり、26 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・処理量 DI は 2 となり、前期と比べて 2 ポイント改善した。
見通しは▲19 となり、21 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・営業利益 DI は▲2 となり、前期と比べて 3 ポイント悪化した。
見通しは▲15 となり、13 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・資金繰り DI は▲1 となり、前期と比べて 4 ポイント悪化した。
見通しは▲2 となり、1 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・借入難易度 DI は 9 となり、前期と変わらず。
見通しは 8 となり、1 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・設備投資 DI は 4 となり、前期と比べて 6 ポイント改善した。
見通しは 0 となり、4 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・従業員数 DI は▲2 となり、前期と比べて 2 ポイント悪化した。
見通しは 2 となり、4 ポイント改善する見込みとなっている。

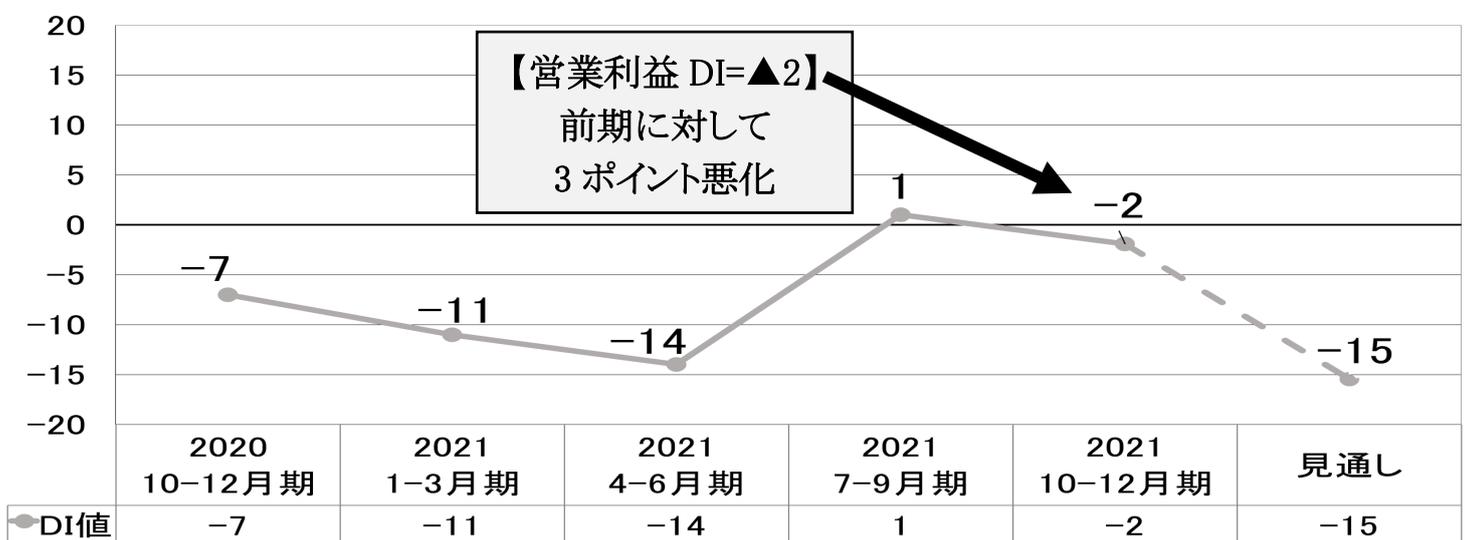
売上高DI (2020年10-12月期～2021年10-12月期と見通し)



処理量DI (2020年10-12月期～2021年10-12月期と見通し)

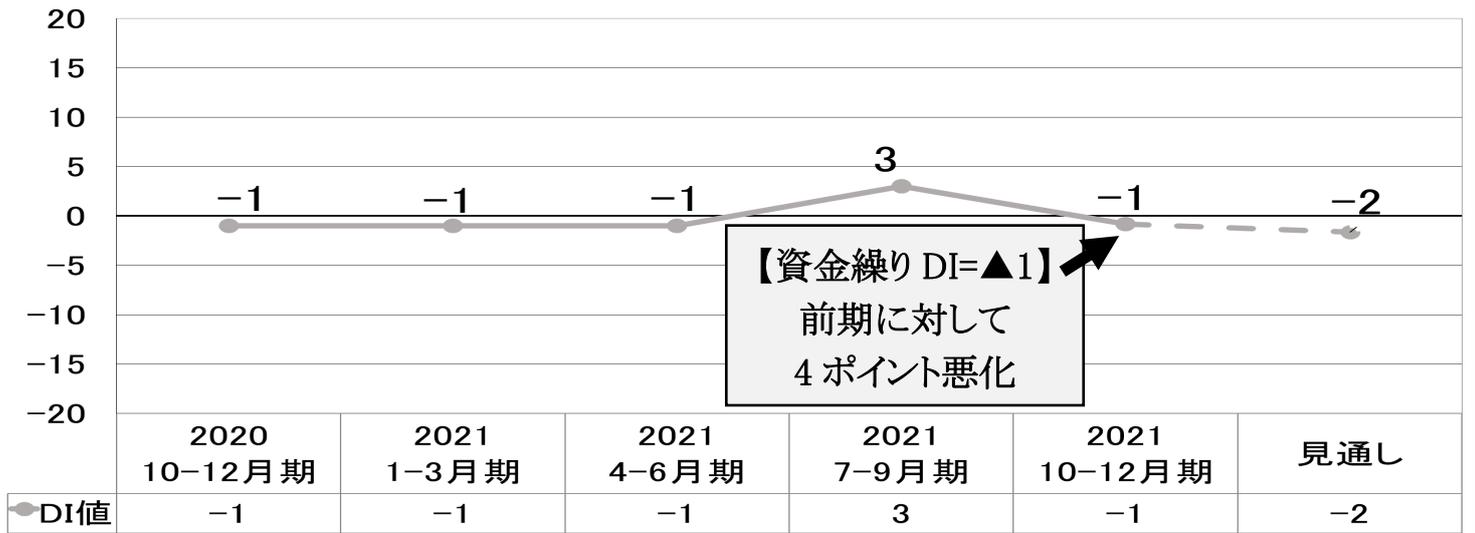


営業利益DI (2020年10-12月期～2021年10-12月期と見通し)



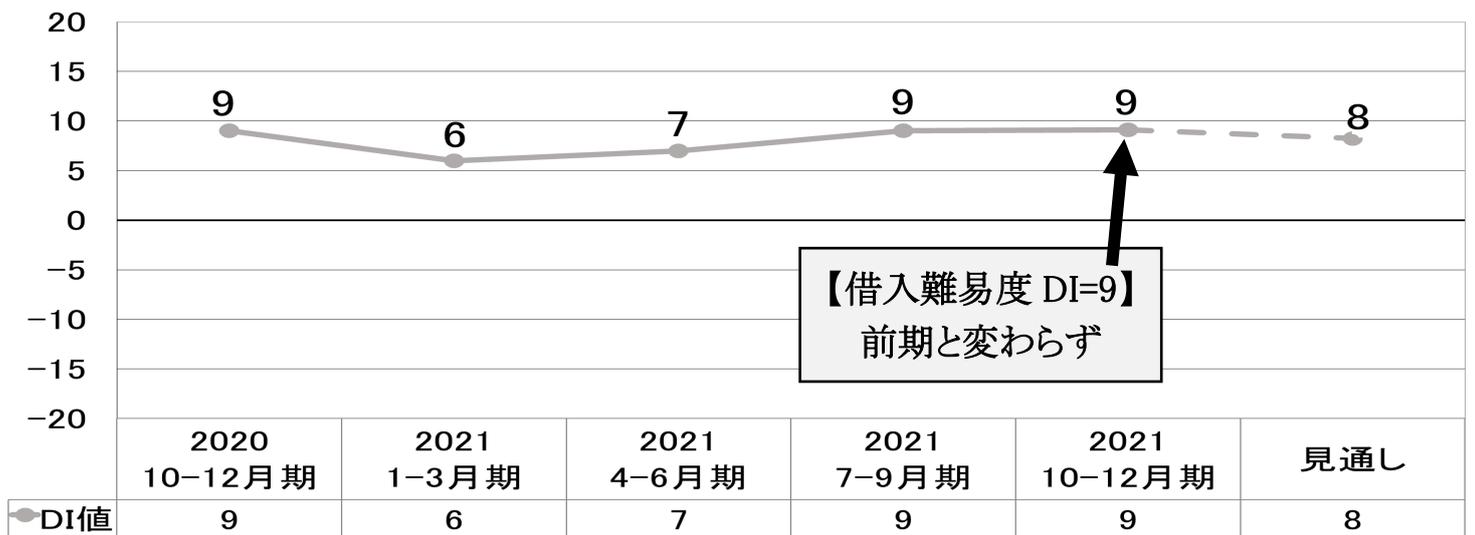
資金繰りDI

(2020年10-12月期～2021年10-12月期と見通し)



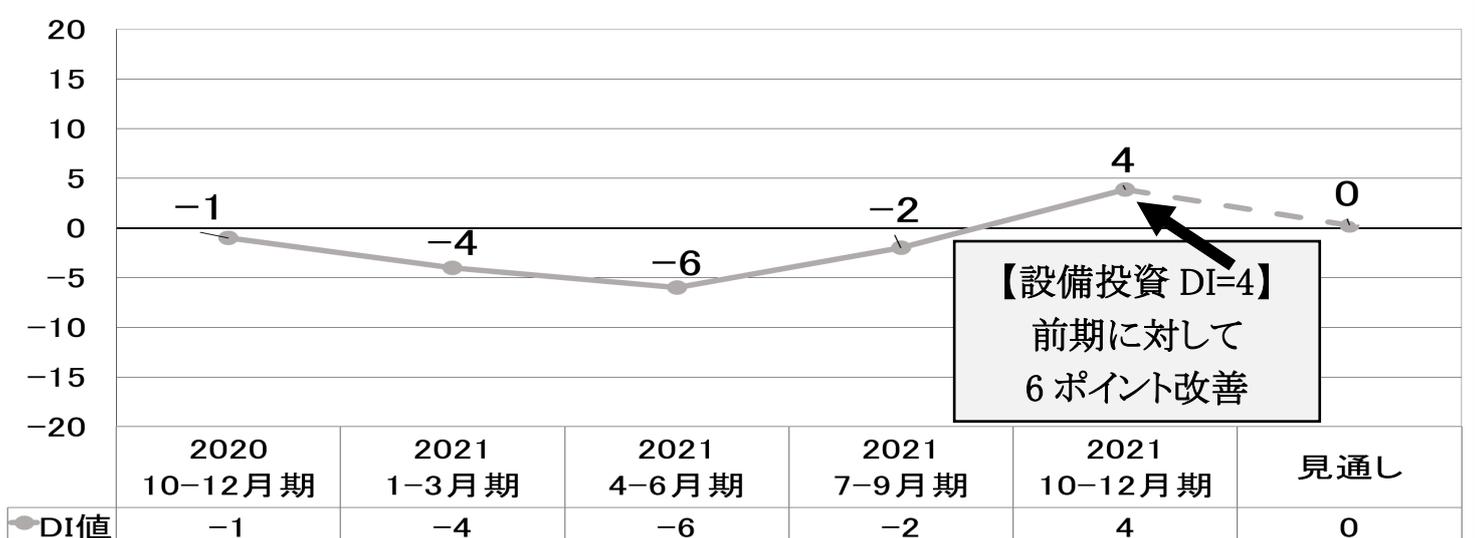
借入難易度DI

(2020年10-12月期～2021年10-12月期と見通し)



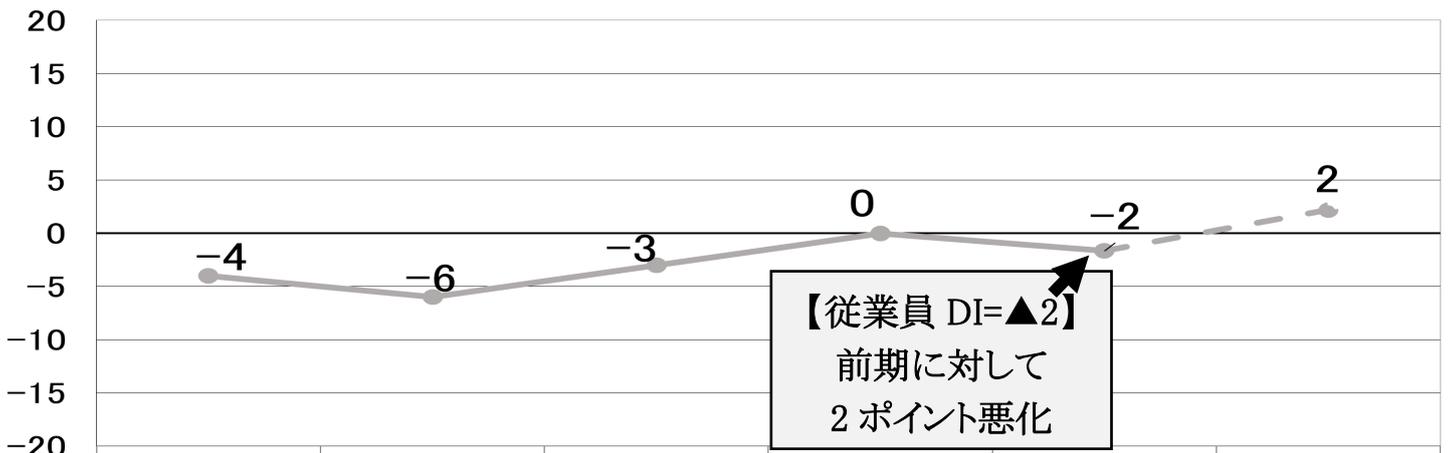
設備投資DI

(2020年10-12月期～2021年10-12月期と見通し)



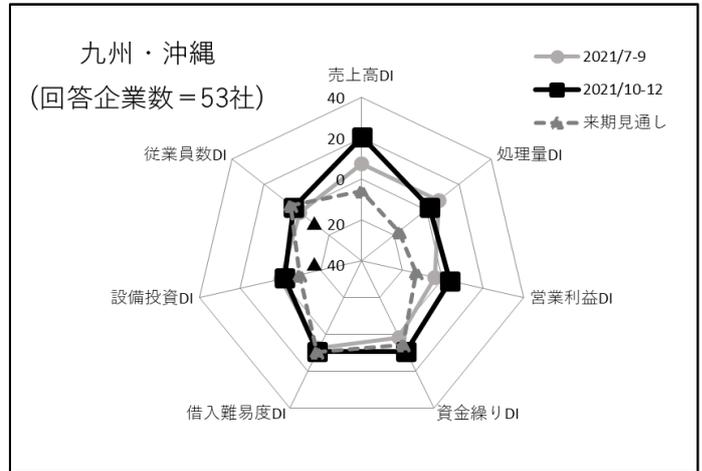
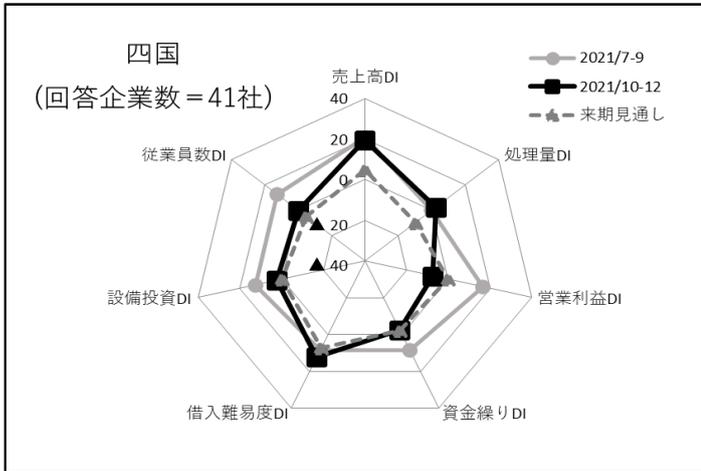
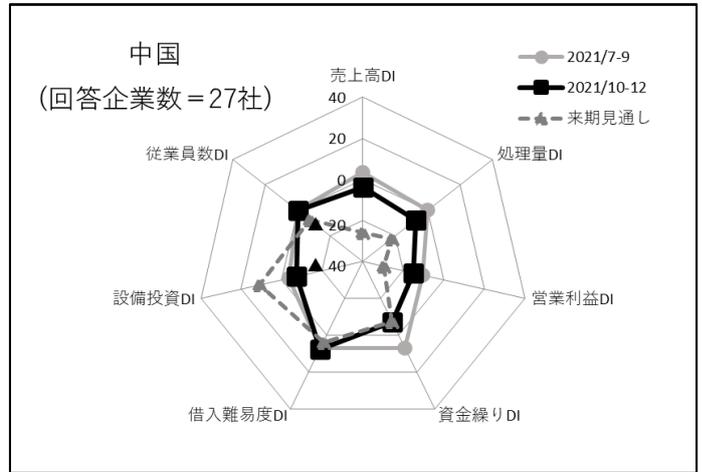
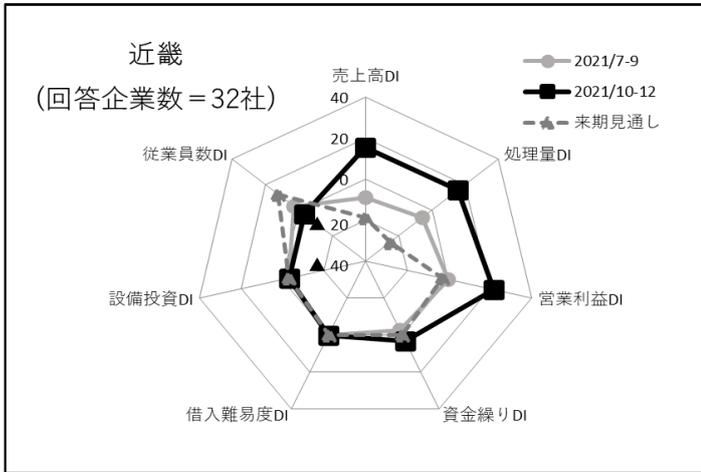
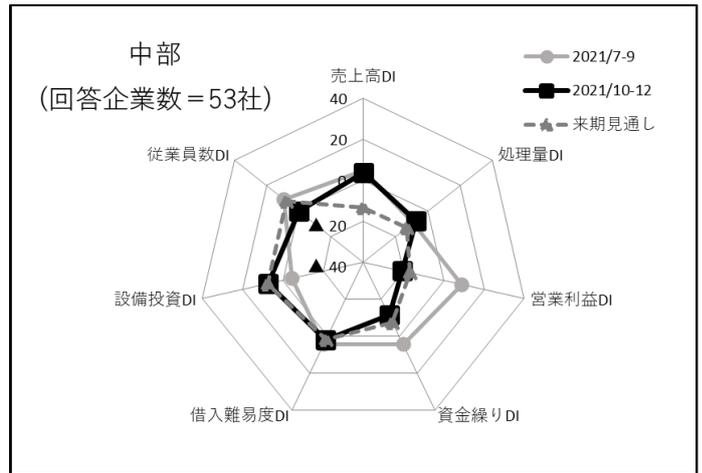
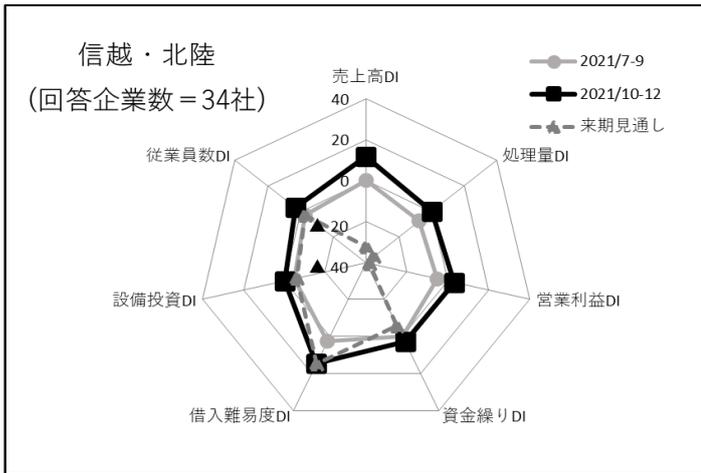
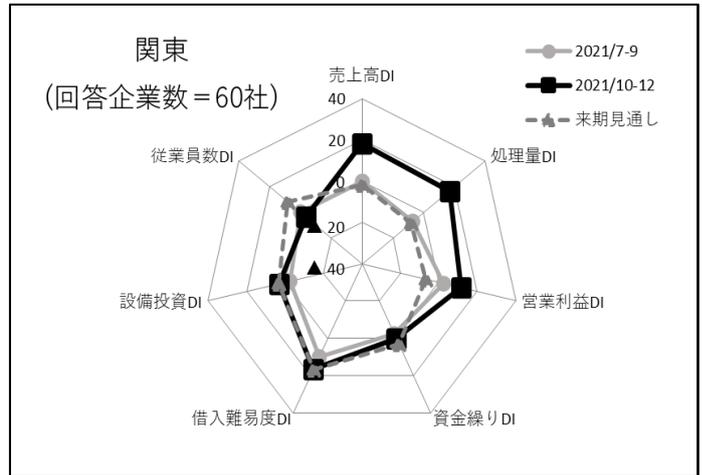
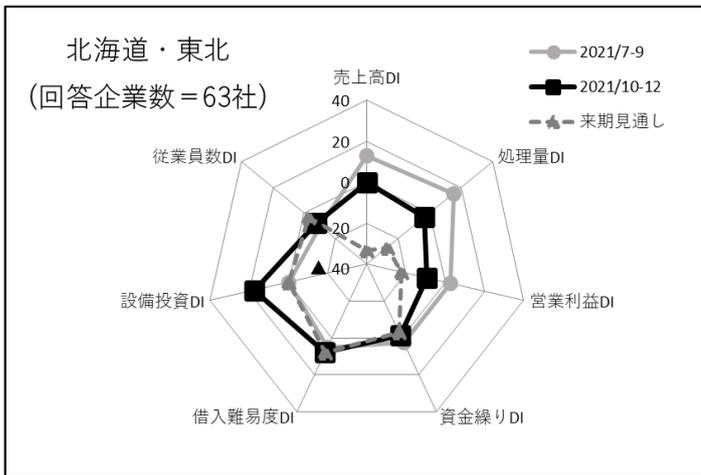
従業員数DI

(2020年10-12月期～2021年10-12月期と見通し)



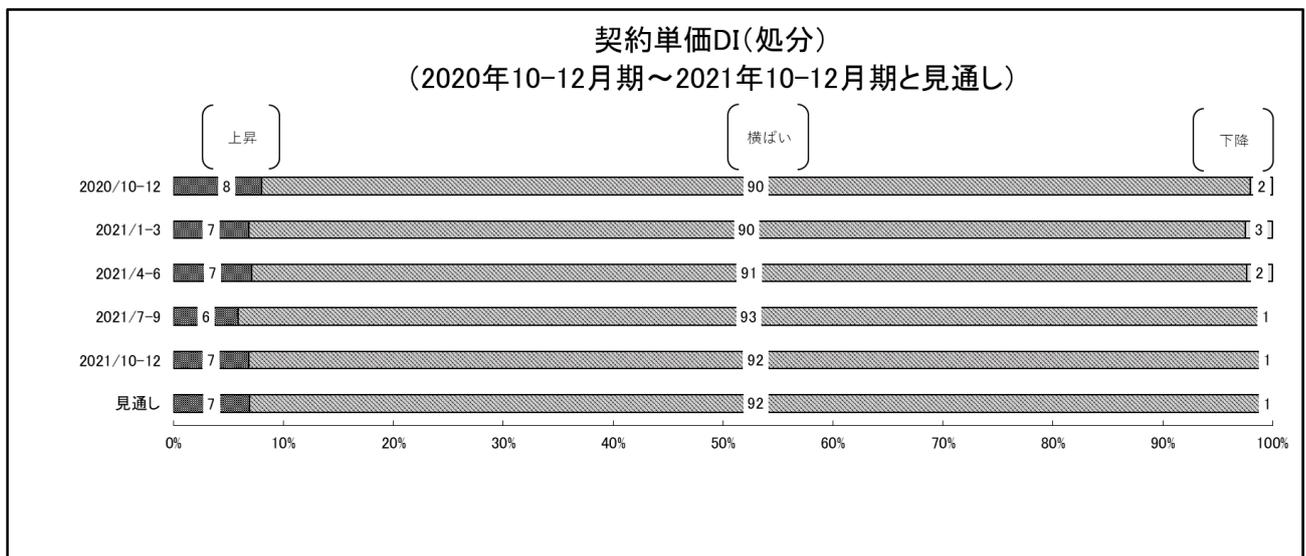
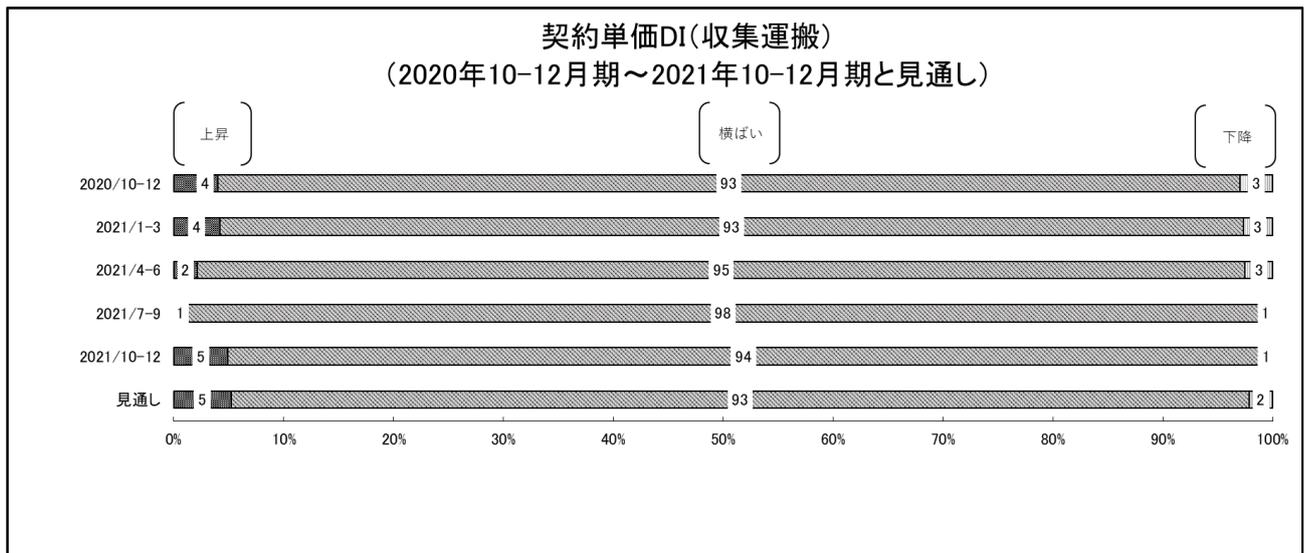
| | 2020 10-12月期 | 2021 1-3月期 | 2021 4-6月期 | 2021 7-9月期 | 2021 10-12月期 | 見通し |
|------|-----------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|-----|
| ●DI値 | -4 | -6 | -3 | 0 | -2 | 2 |

【売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI の地域別レーダーチャート】



(3) 契約単価 DI

- 収集運搬の契約単価 DI は 4 となり、前期と比べて 4 ポイント改善した。
見通しは 3 となり、1 ポイント悪化する見込みとなっている。
- 処分の契約単価 DI は 6 となり、前期と比べて 1 ポイント改善した。
見通しは 6 となり、変わらない見込みとなっている。



2. 売上高の動向

○ 前年同期比(3ヶ月平均)では、2.8%増となった。

有効回答数:124社

単位:千円

| 前年売上高 | 2020年10月 | 2020年11月 | 2020年12月 | 平均 |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 5,719,554 | 5,604,476 | 6,154,767 | 5,826,266 |
| 今年売上高 | 2021年10月 | 2021年11月 | 2021年12月 | 平均 |
| | 5,942,634 | 5,780,697 | 6,240,316 | 5,987,882 |
| 前年比 | 3.9% | 3.1% | 1.4% | 2.8% |

3. 処理量の動向

○ 前年同期比(3ヶ月平均)では、2.9%増となった。

有効回答数:132社

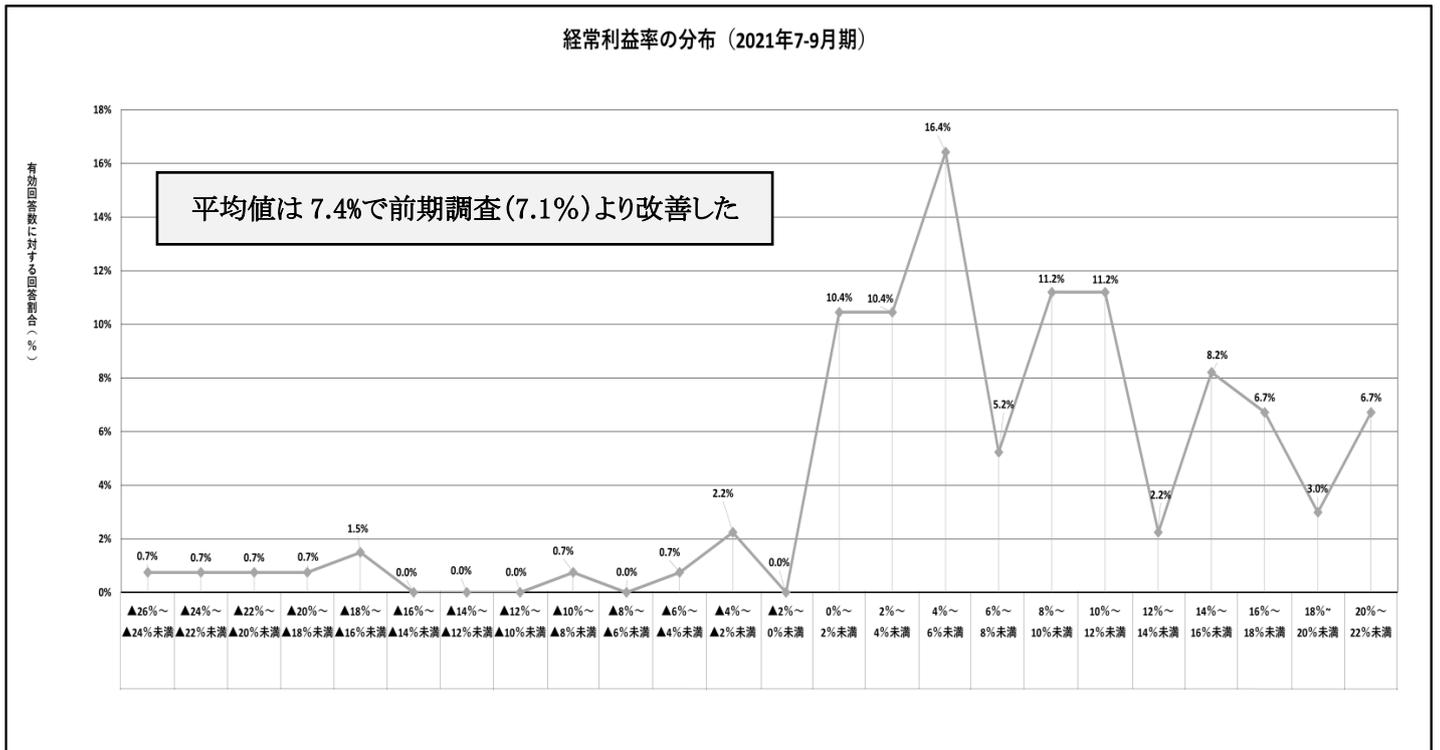
単位:トン

| 前年処理量 | 2020年10月 | 2020年11月 | 2020年12月 | 平均 |
|-------|----------|----------|----------|---------|
| | 318,845 | 306,497 | 316,557 | 313,966 |
| 今年処理量 | 2021年10月 | 2021年11月 | 2021年12月 | 平均 |
| | 317,972 | 321,430 | 329,502 | 322,968 |
| 前年比 | ▲0.3% | 4.9% | 4.1% | 2.9% |

4. 経常利益率(経常利益の対売上高比率)

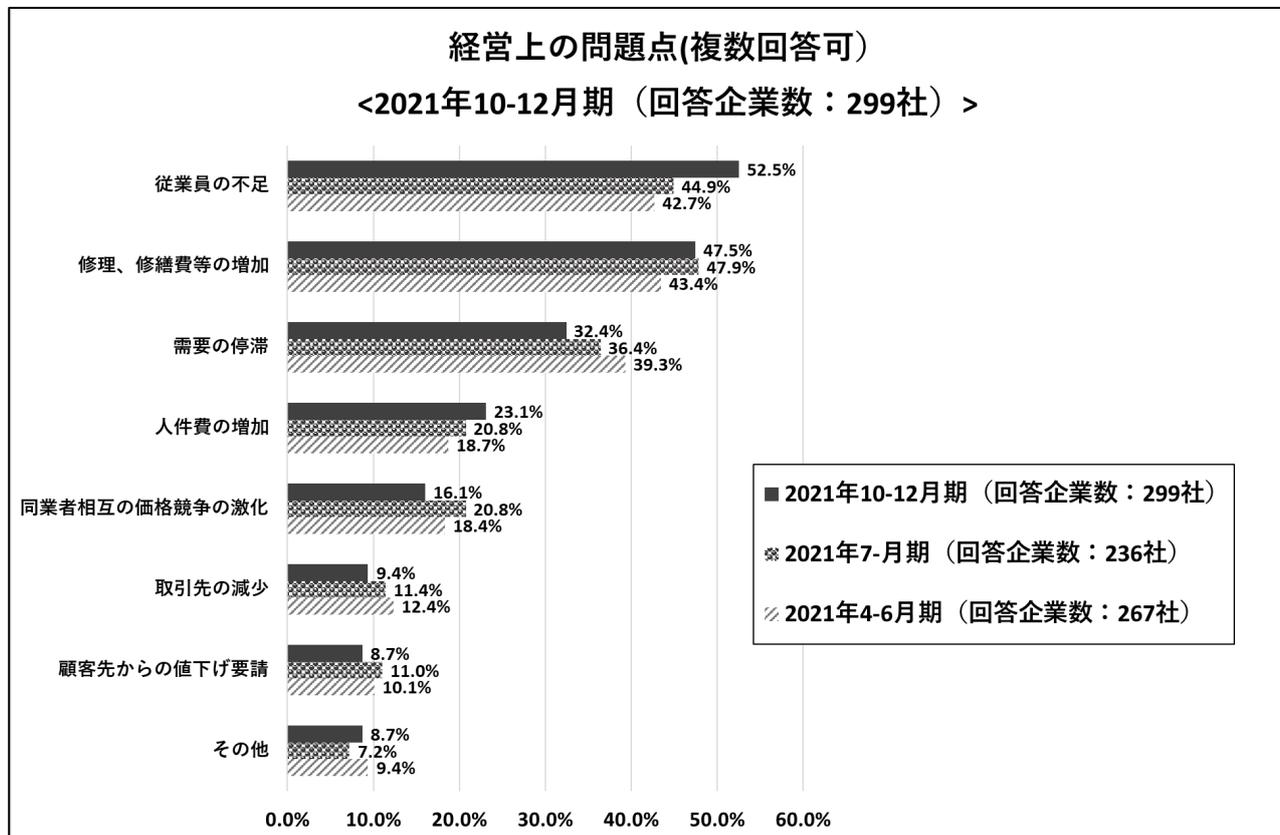
- 経常利益率の平均値は7.4%で前期調査(7.1%)より改善した。
- 最も回答が多かったのは、回答数22社(全体の16.4%)の「4%~6%未満」となった。

有効回答数:134社



5. 経営上の問題点(複数回答可)

- 経営上の問題点として、5割以上の会社が「従業員の不足」を挙げた。
- 「その他」の記述回答の内容は「新型コロナウイルス感染症の影響」が約3割を占めた。



【その他記述回答の代表的な意見】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響(その他記述回答の26.9%)
(新型コロナウイルス感染症対応、景気悪化による廃棄物の減少など)
- ・燃料価格の高騰
- ・RPF 製造に必要な原料価格の高騰

〔調査実施要領〕

本調査は、産業廃棄物処理業の景気動向について把握するため、全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、集計したものである。

(1) 調査対象者

全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員

(2) 調査期間

2022年1月7日～1月31日

(3) 調査方法

Webによるアンケート

(4) 回答数・回答率

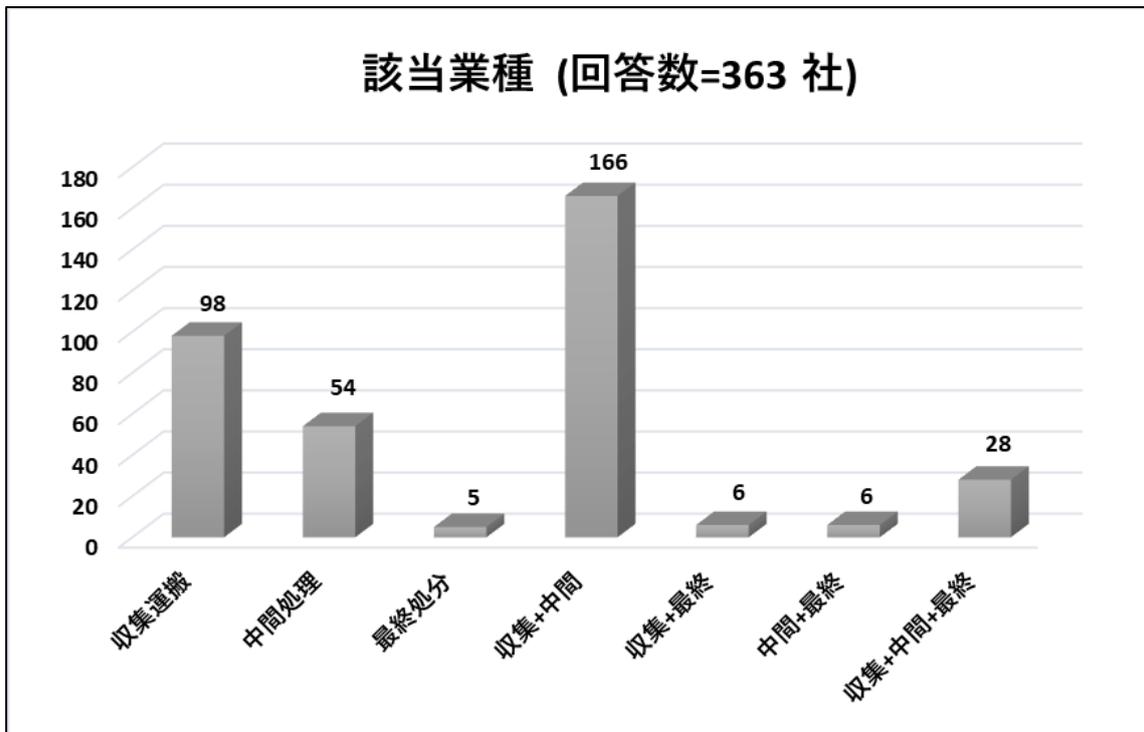
| | |
|---------|--------|
| 調査依頼企業数 | 1,156社 |
| 回答企業数 | 363社 |
| 回答率 | 31.4% |

(5) サンプル構成

① 地域別構成

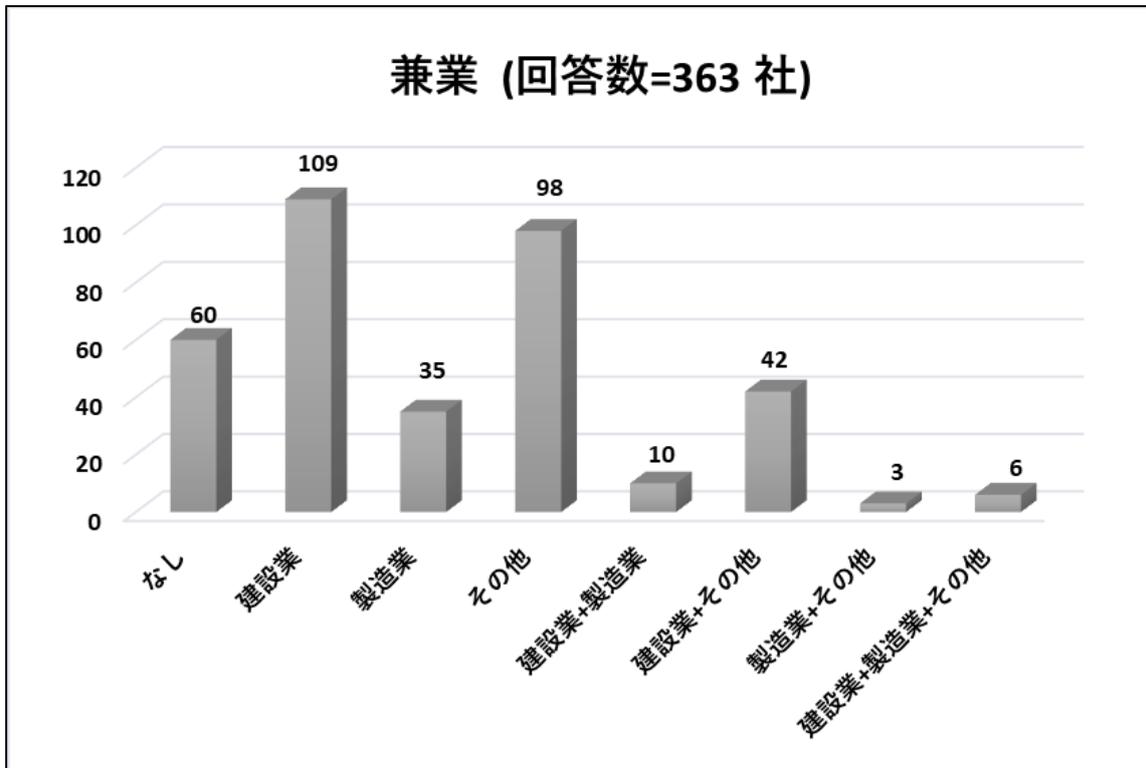
| 地域 | 企業数 | 構成比 |
|--------|-----|--------|
| 北海道・東北 | 63 | 17.4% |
| 関東 | 60 | 16.5% |
| 信越・北陸 | 34 | 9.4% |
| 中部 | 53 | 14.6% |
| 近畿 | 32 | 8.8% |
| 中国 | 27 | 7.4% |
| 四国 | 41 | 11.3% |
| 九州・沖縄 | 53 | 14.6% |
| 合計 | 363 | 100.0% |

② 業種別構成



| 該当業種 | 企業数 | 構成比 |
|----------|-----|--------|
| 収集運搬 | 98 | 27.0% |
| 中間処理 | 54 | 14.9% |
| 最終処分 | 5 | 1.4% |
| 収集+中間 | 166 | 45.7% |
| 収集+最終 | 6 | 1.7% |
| 中間+最終 | 6 | 1.7% |
| 収集+中間+最終 | 28 | 7.7% |
| 合計 | 363 | 100.0% |

③ 兼業別構成



| 兼業 | 企業数 | 構成比 |
|-------------|-----|--------|
| なし | 60 | 16.5% |
| 建設業 | 109 | 30.0% |
| 製造業 | 35 | 9.6% |
| その他 | 98 | 27.0% |
| 建設業+製造業 | 10 | 2.8% |
| 建設業+その他 | 42 | 11.6% |
| 製造業+その他 | 3 | 0.8% |
| 建設業+製造業+その他 | 6 | 1.7% |
| 合計 | 363 | 100.0% |